

上質な いいもの 山形

明治初期、単身やまがたを訪れたイギリスの女性旅行家イザベラバードがそこに見たアルカディア（理想郷）
「山に囲まれ、最上川が明るく輝く美しい風景、勤勉、安楽さに満ち、
様々な特産品を実らせる、豊かな微笑するような大地」
そんな美しい自然や豊かな大地が、今も山形には広がっています。

1,400年の歴史を誇る出羽三山信仰をはじめとする精神文化や黒川能に代表される地域文化は、
古来から伝えられた匠の技や風土のたまもの。

手間を惜しむことなく、妥協せずに、一途に粘り強く丁寧なものづくりに向き合う姿。
自然の恵みへの感謝の心と、冬を耐え抜く粘り強さ。そして、期待を超える新しい挑戦。
やまがたのものづくりの心は、やまがたの気候・風土の中から生まれ、育まれてきました。

やまがたにはさくらんぼ、ラ・フランス、牛肉、豚肉、紅花、米などの農産物から、
日本酒や蕎麦、ラーメン、芋煮や玉蒟蒻などの郷土料理、
さらには織物や鋳物、木工などの工芸品から最先端の工業製品まで、様々な特産物があります。

やまがたの自然や風土、そこに育まれた地域の文化とものづくりの心。
それこそが、やまがたのものづくりを支えているのです。

上質ないいものを選びたい、上質ないいものを使って暮らしたいと願っている、
そんな生活の楽しみを知る人に寄り添っていききたい。
それが「やまがた」の想いです。
